

第76回日本細胞生物学会大会

趣 意 書

第5版（2024年5月1日）

会期：2024年（令和6年）7月17日（水）～ 19日（金）

会場：つくば国際会議場

（住所）〒305-0032 茨城県つくば市竹園2丁目20-3

- 企業共催シンポジウム
- 企業ランチョンセミナー
- 附設展示（機器展示・書籍展示）
- 電子要旨集広告
- 大会ウェブサイトバナー広告
- ネームカード・ストラップ

日本細胞生物学会 会長

井垣 達吏 京都大学大学院 生命科学研究科 システム機能学
薬学研究科 生理活性制御学 教授

日本細胞生物学会 第76回大会 大会長

岡田 康志 東京大学大学院 医学系研究科 教授
理化学研究所 生命機能科学研究センター

お問い合わせ先

第76回日本細胞生物学会 大会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学医学部教育研究棟3階北側細胞生物学教室内

TEL:03-5841-3676

E-mail: jscb2024-office-group@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

第76回日本細胞生物学会 広告・出展事務局

〒116-0011 東京都荒川区西尾久7-12-16

株式会社ソウブン・ドットコム コンベンション部内

TEL:03-3893-0111（代表）

E-mail: jscb76-sp@soubun.biz

謹啓 平素は当学会の事業にご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、第76回日本細胞生物学会大会を 2024年（令和6年）7月17日（水）より 19日（金）までの 3 日間、つくば国際会議場を会場とし開催することになりました。若手の会を前日に開催します。

細胞は生命の基本単位です。細胞生物学は、あらゆる生命現象を「細胞」を基盤として研究し、理解する学問分野で、すべての生命科学の基礎といえます。この細胞生物学の発展を目指して、日本細胞生物学会は1950年に設立され、現在の会員数は約 1,100 名に上っています。

顕微鏡観察という形態学的なアプローチから生まれた細胞生物学は、生化学や生理学、分子生物学などの基礎生物学研究の様々なアプローチを取り入れ、構造生物学や発生生物学など、分子レベル・細胞レベル・個体レベルの研究をすべて包括した形で発展し、生命科学研究のフロンティアを切り拓いてきました。細胞生物学研究によって得られた基礎学理は、さまざまな生命現象を理解する基盤として、医学・薬学・農学・工学など広汎な領域でその応用が広がっています。近年では、計算科学やデジタル技術の発展を背景に、Google Mapの人体版を目指す Human Cell Atlas プロジェクトやChatGPTの細胞版ともいえる single cell GPT などの開発も進められています。

一方、コロナ禍を経て、オンラインではなく対面で学会を開催することの意義が問い直されました。自分とは異なる専門分野でのアイデアや新技術に触れたり、新たな知己を得たりといった偶然的な予期せぬ出会いは、オンライン集会では困難です。細胞生物学会大会は、参加者数650名程度ですので、分野の壁を越えた交流に最適な規模です。

今回の大会では、新機軸として、一日目午後に次世代を担う若手ホープの最新研究が競いあう細胞生物学会若手優秀賞審査会を開催し、引き続いて同じ会場でプレナリーレクチャーを開催します。プレナリーレクチャーでは、幹細胞生物学研究で世界をリードする大御所Fiona Watt博士と、合成生物学と計算科学・デジタル技術を融合した新しい研究スタイルで日本・カナダを股にかけて活躍しておられる新進気鋭の谷内江望博士のお二人がご登壇予定です。引き続いて、オープニングレセプションを開催し、大会初日から世代を超えた交流の場を積極的に盛り上げていきたいと考えています。

このようなご時世ですので、世代を超えて地道な基礎研究に邁進することの重要性はかえって高まると思われます。こうした基礎研究から、新たな生命現象の発見やそのメカニズムの理解が生まれ、新たな治療法や創薬などの応用の種となることが期待されます。

つきましては、本大会の趣旨にぜひともご賛同いただき、本大会遂行のために格別のご高配を賜りたくお願い申し上げます。

末筆ながら、貴社のますますのご発展をお祈り申し上げます。 謹白

開催概要

- 名 称 : 第 76 回日本細胞生物学会大会
The 76th Annual Meeting of the Japan Society for Cell Biology
- 主 催 : 日本細胞生物学会
- 共 催 : CREST、AMED-CREST、新学術領域、学術変革領域A/Bおよび、
企業と共催予定
- 大 会 長 : 岡田 康志
東京大学大学院 医学系研究科 教授・理化学研究所 生命機能科学研究センター
- 会 期 : 2024 年（令和 6 年）7月17日（水）～ 19日（金）
- 会 場 : つくば国際会議場
〒305-0032 茨城県つくば市竹園 2 丁目 2 0 - 3
- 参加者予定数 : 約600名
- 開催実績（過去7年間）

開催年	回数	大会長	開催地	参加者数
2017年	第69回	水野健作(東北大学大学院生命機能研究科)	仙台	645 名
2018年	第70回	原田彰宏(大阪大学大学院医学系研究科) (第 51 回日本発生生物学会 大会と合同開催)	東京	1186 名
2019年	第71回	遠藤斗志也(京都産業大学総合生命科学部) (第 19 回日本蛋白質科学会 大会と合同開催)	神戸	1551名
2020年	第72回	森和俊(京都大学大学院理学研究科)	誌上開催	
2021年	第73回	森和俊(京都大学大学院理学研究科)	WEB開催	550 名
2022年	第74回	今本尚子(理化学研究所開拓研究本部)	東京	569 名
2023年	第75回	吉森保(大阪大学大学院 生命機能研究科)	奈良	720 名

■ 大会組織委員

大会長：岡田 康志（東京大学大学院 医学系研究科・教授）

委員：青木 一洋（基礎生物学研究所 生命創成探究センター・教授）

本田 郁子（東京大学大学院 医学系研究科・准教授）

鈴木 厚（横浜市立大学大学院 生命医科学研究科・教授）

田口 秀樹（東京工業大学 科学技術創成研究員・教授）

大杉 美穂（東京大学大学院 理学系研究科・教授）

池田 一穂（東京大学大学院 医学系研究科・講師）

■ 第76回日本細胞生物学会 大会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学医学部教育研究棟3階北側細胞生物学教室内

E-mail: jscb2024-office-group@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

TEL:03-5841-3676

■ 第76回日本細胞生物学会 広告・出展事務局

（委託先：株式会社ソウブン・ドットコム）

（広告・出展に関するお問合せ）

〒116-0011 東京都荒川区西尾久7-12-16

株式会社ソウブン・ドットコム コンベンション部

E-mail: jscb76-sp@soubun.biz

TEL:03-3893-0111（代表）

※できるだけメールでのお問い合わせにご協力をお願いします。お電話の対応が必要な場合は、事務局より折り返しご連絡いたしますので、まずはメールにてご連絡ください。

■ 大会開催の目的と意義

細胞生物学は、生命の基本単位としての細胞が示す驚くほど精緻な仕組みを分子レベルで明らかにしていく学問であり、その発展は、生命の基本原理を明らかにするだけでなく、今日急速に発展している生命科学の医学的応用の重要な基礎を形作っています。約10か国、30名近い海外の研究者とともに、76回目の年会として開催される本学術集会は、こうした細胞生物学の日本における維持・発展に不可欠な意義を有しています。

具体的に、本大会は下記の目的を持って開催いたします。

1. 日本細胞生物学会（1950年設立、会員数約1,000人）の構成員が最新の研究成果を互いに発表し、建設的な討論を進める。また、生命科学分野で優れた研究成果を挙げている海外の演者を招聘し、特別講演を聴き討論する。これらの取り組みを通じて、学会員の研究内容をさらに深め、会員の研究力を高める。
2. 学会員同士が互いに懇親を深め、新たな人間関係を構築しつつ、情報交換する。また、研究の推進に役立つ各種企業の研究機器、研究試薬等の新製品の情報を収集する。
3. 次代の研究を担う若手学会員が研鑽を積む場を積極的に作り、彼らを励まし育成する。

■ 日程（予定）

日程	午前	昼	午後	夕方	夜
7/16(火)			細胞生物 若手の会		
7/17(水)	シンポジウム	ランチョン セミナー	一般口頭発表 若手最優秀賞 選考会	ポスター発表	特別講演 海外演者2名
7/18(木)	シンポジウム	ランチョン セミナー	ポスター発表	シンポジウム ワークショップ	懇親会
7/19(金)	シンポジウム ワークショップ	ランチョン セミナー	ポスター発表	シンポジウム ワークショップ	

■ 大会の構成

- 1) **特別講演 2枠**(英語)：海外演者を招いたプレナリーレクチャー(後述)
- 2) **シンポジウム 16枠**(日本語または英語)
細胞生物学の各分野において先端的な研究を進めている演者(海外からの演者を含め各枠5~6名)。特に、近年発展の著しいイメージング技術や画像データの解析技術に特化したシンポジウムや、若手研究者による企画のセッションを設ける。
- 3) **若手最優秀発表賞選考会 1枠**(日本語または英語)
次代の細胞生物学を担う研究者の育成、奨励の場。事前選考により若手優秀発表賞を受賞した10数名が講演。審査委員による選考で若手最優秀発表賞2名を決定する。
- 4) **一般演題：口頭発表 4枠**(日本語または英語)
学生を含め、広く学会員から募集した研究成果の中から選考した演題(各セッション 約10演題)を、それぞれのテーマごとに分けて発表してもらう。
- 5) **一般演題：ポスター発表 毎日 1 枠**
一般口頭演題に採択されなかった研究成果の発表の場(毎日80演題、計240演題)。
- 6) **企画ワークショップ 4枠**(日本語)
男女共同参画、顕微鏡技術などのテーマで実行委員会が企画
- 7) **ランチョンセミナー 6枠**(日本語)
細胞生物学研究において有用な最新の機器や研究試薬に関する情報を、具体的に用いた研究者からの報告なども交えながら、協賛企業から参加者に紹介してもらう。
- 8) **展示会(約 30ブース)**
細胞生物学関連の機器や試薬の新製品、研究リソース等の展示会

※ 特別講演では、キングス・カレッジ・ロンドン幹細胞・再生医療センター、および、欧州分子生物学機構(EMBO)の所長である**Fiona Watt博士**を招聘し、”Regulation of homeostasis in mammalian epidermis (哺乳動物の表皮の恒常性制御機構)”というタイトルで講演をしていただく。**Watt博士は、哺乳類の皮膚をモデル系として成体組織の分化状態がどのように維持されるのかということを一貫して研究してきた世界的な研究者**であり、表皮が、幹細胞の自己複製とその分化細胞によってどのように維持されているかを解明し、臨床的にも重要な成果を次々と上げている方である。皮膚の分化、老化、ストレス応答などは、細胞生物学の一つの重要な研究分野であり、本講演を受けての、学会員による積極的な討論が期待される。

もう一方お呼びする**谷内江 望 博士**(ブリティッシュコロンビア大准教授、大阪大学ヒューマン・メタバース疾患研究拠点 特任教授)は、新しい合成生物学とデータマイニングの技術を既存のテクノロジーと統合的に組み合わせることによって、分子・細胞・細胞分化計測のための新しい実験・テクノロジーを生み出し、これまで観察不可能であった生命科学現象の解明を進めている、新進気鋭の研究者である。

■ 予算案

＜収入の部＞

科目		予算額	備考
大会収入	参加費	4,095,000	会員 (事前登録) 10,000円 × 240人 非会員 13,000円 × 40人 会員 (後期登録) 13,000円 × 35人 非会員(当日) 16,000円 × 45人
	共催シンポジウム	2,000,000	CREST・AMED-CREST・ 新学術領域・学術変革領域A等
	広告関係費	990,000	バナー 539,000円 抄録内広告 231,000円 ネームカード 220,000円
	企業展示	8,580,000	330,000円×26社
	ランチオンセミナー	2,750,000	550,000円 × 5社
	寄付金・助成金	2,000,000	
	雑収入	664,135	
	小計	21,079,135	
懇親会費		1,915,000	
合計		22,994,135	

■ 予算案

＜支出の部＞

科目		予算額	備考
大会経費	会場費	5,000,000	
	海外演者招聘費	2,000,000	
	当日会場設営費 機材費 運営費	10,761,335	機材、看板、設営、ディレクター、 大会業務委託費、その他
	HP作成・開設費	1,650,000	
	開催当日アルバイト 人権費	1,000,000	
	雑費	500,000	
小計		20,911,335	
懇親会費用		2,082,800	
総合計		22,994,135	

本会において、若手育成および先端的な研究成果に関する熱のこもった討論と情報交換の場を提供できるよう、準備を進めて参ります。

貴社におかれましては、本会の趣旨をご理解いただき、相応しい協賛メニューがありましたら是非ともご参加いただきたく、お願い申し上げます。先着順での受付とさせていただきますので、ご検討段階でも差し支えありませんので、お早めに広告・出展事務局（jscb76-sp@soubun.biz）までご連絡ください。お問い合わせ・ご相談頂いた内容への回答と併せて、申込みフォームを案内させていただきます。

なお、本年度も、協賛企業様からのご提案やご相談にも柔軟に対応させていただきますので、広告・出展事務局（jscb76-sp@soubun.biz）までお気軽にご連絡ください。

■ 附設展示（機器展示・書籍展示）

学会期間中、学会参加者を対象とした展示を実施します。

機器展示はポスター発表と同じ会場にて実施します。（書籍展示は1階講演会場前で行う場合があります。）

申込時に有料で角小間を指定いただくことができます（先着順）。

※7月17日・18日・19日の3日間、ポスター発表を実施します。

※機器展示会場内に参加者向け休憩スペースを設置します。

※事務局によるブース回遊施策（スタンプラリー）を実施予定です。

開催日程	2024年7月17日（水）9:30～18:00（予定） 2024年7月18日（木）9:30～18:00（予定） 2024年7月19日（金）9:30～15:00（予定）
基本出展料*	【機器展示】1小間 単価 300,000 円（税別） 角小間指定追加料 50,000 円（1社、税別） アカデミア枠1小間単価 200,000 円（税別） 【書籍展示】60,000 円（税別／テーブル2卓を含む） テーブル追加料 1卓あたり単価 20,000円（税別） ※前回大会よりテーブルのサイズが変更になります。
申込締切日	2024年3月11日（月）

■ ランチョンセミナー

昼食時間に参加者を対象とした企業セミナーを実施します。会場収容人数は150名程度を予定しております。

開催日程	2024年7月17日(水)12:00～13:00 2024年7月18日(木)12:00～13:00 2024年7月19日(金)12:00～13:00		
基本 セミナー料	1 枠 500,000 円(税別)	募集枠数	最大5枠(3日間計)
申込締切日	2024年3月11日(月) [ご相談ください]		

■ 企業共催シンポジウム

シンポジウムへのスポンサーを募集します。企業様のメリットとして、企業講演（15分程度）の実施、パンフレット配布などの宣伝広告活動の枠を提供いたします。どのシンポジウムのスポンサーになっていただくかは、お申し込みいただいた後、ご相談させていただきます。

開催日程 1枠150分	2024年7月17日(水)9:00～11:30 2024年7月18日(木)9:00～11:30、15:00～17:30 2024年7月19日(金)9:00～11:30、15:00～17:30		
基本共催 シンポジウム料	1 枠 250,000 円(税別) 1 枠 200,000 円(アカデミア 枠・不課税)	募集枠数	8枠(3日間計)
申込締切日	2024年3月11日(月) [ご相談ください]		

■ 電子要旨集広告

学会参加者を対象として大会ウェブサイト上へ電子版プログラム要旨集を掲載します。

掲載予定	2024年6月下旬(予定)
広告掲載料	カラー(A4版、1頁)70,000 円(税別)
申込締切日	2024年3月29日(金)

■ 大会ウェブサイトバナー広告

大会ウェブサイト内に掲載するバナー広告を募集します。
ホームページ右側のカラムに縦並びでの掲載を予定しています。ホームページの仕様により、
バナー画像の切り替えはいたしません。

入稿形式 (予定)	高さ70ピクセル×横幅160ピクセル(予定) ファイルサイズ:最大3MBまで(可能な限り小さなファイルをご準備ください) ファイル形式: JPEG / GIF / PNG		
広告掲載料	70,000 円(税別)／バナー	募集規模	10社程度(予定)
申込締切日	2024年3月11日(月)		

■ ネームカード・ストラップ

参加者・関係者・運営スタッフが着用するネームホルダーを広告媒体としてご活用ください。
御社にてネームカードホルダー用ストラップを作成の上、事務局までご支給をお願いします。

配布対象者	参加者・関係者・運営スタッフ 約700名(予定)		
広告掲載料	200,000 円(税別)	募集規模	1社
申込締切日	2024年3月29日(金)		

寄付金募集要項

第76回日本細胞生物学会大会では、若手育成および先端的な研究成果に関する討論と情報交換の場を提供できるよう準備を進めて参ります。

本会の開催趣旨にご賛同いただき、何卒ご支援頂きますようお願い申し上げます。

【募金の名称】 第76回日本細胞生物学会大会 寄付金

【募金目標金額】 金 500,000 円也

【寄付金の用途】

第76回日本細胞生物学会大会の準備・運営費用に充当させていただきます。

【お申込み先・お申込み方法】

本会の趣旨にご賛同いただける場合は、大会事務局(jscb2024-office-group@g.ecc.u-tokyo.ac.jp)までご連絡下さい。折り返し、申込みフォーム・振込先などについてご連絡させていただきます。

【お申込み締切】

2024年5月20日（月）

【送金手続きの目安日】

2024年5月31日（金）までにお手続きいただければ幸いです。

【情報公開の同意について】

製薬企業等の活動における医療機関等との関係の透明性・信頼性向上のため、医療機関及び医療関係者等に対する研究費、寄付、交流等の支出に係る情報を、製薬企業が自社のウェブサイトで公開することに伴い、貴社・貴団体が本会に対して行うご寄付に関し、貴社・貴団体ウェブサイト等で公開されることに同意します。

【その他】

税法上の免税措置はございません。

【お問合せ先】

第76回日本細胞生物学会 大会事務局

〒113-0033 東京大学文京区本郷7-3-1

東京大学医学部教育研究棟3階北側 細胞生物学教室内

E-mail: jscb2024-office-group@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

TEL:03-5841-3676